

## VI 分科会の趣旨及び視点

### <第1分科会> 経営ビジョン

#### 研究課題 明確なビジョンに基づく相違と活力に満ちた学校形の推進

##### 分科会の趣旨

少子高齢化や情報化等，社会情勢が急速に変化する中で，学校教育に対する期待はさらに大きくなり，評価の目も厳しさを増している。

こうした学校への要請に応えていくためにも，学校の在り方や役割を見直すことが必要である。自校の実態から課題を明確にし，変えるべき点と変えてはいけない点を見極め，重点化と効率化を図りながら，解決の方向を示すことが重要である。そして，校長の力強いリーダーシップのもと，教職員の知恵と力を結集するとともに，保護者や地域とも課題を共有し，解決を図っていかなければならない。

今，新しい時代にふさわしい創意と活力に満ちた学校経営が求められている。創意と活力は，課題解決に向かっての，十分なコミュニケーションや協働の中に育まれるものであり，創意と活力あふれる教職員のもとに創意と活力あふれる子どもたちが育つ。

校長は，教育の本道を極めるとともに，時代の潮流を的確に見取り，子どもたちの未来を見据えた明確な学校経営ビジョンのもと，活気ある組織・運営体制を築いていかなければならない。本分科会では，そのための具体的な方策を明らかにする。

##### 研究の視点

#### (1) 子どもの未来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定

明確な学校経営ビジョンとは，教職員，保護者や地域に学校の目指す姿が容易にイメージされ，学校教育目標実現への手だてや道筋が明快に示されたものである。合わせて，教職員の特性，地域の歴史や学校への思いを踏まえた上で，それぞれへの働きかけが明瞭に意図されたものでなければならない。

ビジョン策定に当たっては，学校や地域の実態に関する十分な情報収集と分析を行うとともに，子どもの未来の姿を見据えた中・長期的な視点も忘れてはならない。

学校のトップリーダーとしての確かな教育理念・見識に基づきビジョンを構想し，揺るぎない信念と情熱をもって学校経営を進めることが重要である。

このような視点に立ち，子どもの未来を見据えた明確な学校経営ビジョンを策定していく上での，校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

#### (2) 明確なビジョンに基づく創意と活力に満ちた学校経営の推進

変化の激しい社会情勢の中にあって，主体性・自律性を確立し，新しい時代の要請に応える創意と活力ある学校経営を推進することが期待されている。

校長は，教職員，保護者や地域に，学校の実態に応じた明確な学校経営ビジョンを示し，協働・連携して，子どもたちにこれからの社会を生き抜く力を育んでいくことが重要である。そのためにも，時代の潮流を的確に見取り，子どもたちの未来を見据えて力強いリーダーシップを発揮して，学校教育目標の具体化，創意ある教育課程の編成，教職員の学校運営参画意識が強まる分掌組織づくりや教職員の意欲的な教育実践等を推進していかなければならない。

このような視点に立ち，明確なビジョンに基づく創意と活力に満ちた学校経営を推進する上での，校長の果たすべき役割と指導性を究明する。